

12月14日のウクライナ情報

安齋育郎

①ゼレンスキー - 平和への切実な願い(2024年12月11日)

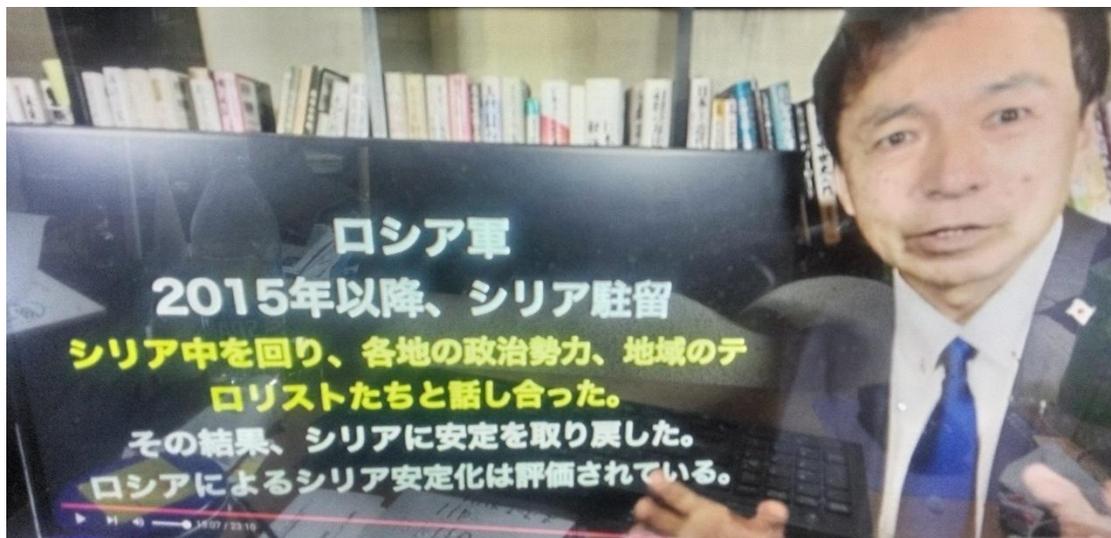
<https://youtu.be/MfpjAiW65pw>



<https://www.youtube.com/watch?v=MfpjAiW65pw>

②【シリア情勢】なぜアサド政権は崩壊したのか？プーチンの敗北なのか？【及川幸久】(2024年12月12日)

<https://youtu.be/PRyYJ8GQ0Rc>



<https://www.youtube.com/watch?v=PRyYJ8GQ0Rc>

③ゼレンスキー:エスカレーションか外交か? パトリック・ヘニングセン氏(2024年12月12日)

<https://youtu.be/lkPsz9pdZtk>



<https://www.youtube.com/watch?v=lkPsz9pdZtk>

④「ロシアに戦争勝たせない」 スウェーデン首相、都内で講演(KYODO、2024年12月4日)

来日した北欧スウェーデンのクリステション首相が4日、東京都内で講演し、ウクライナに侵攻するロシアが「ルールに基づく世界秩序を破壊し、民主主義や領土保全を信じるわれわれ全員に戦争を仕掛けている」と指摘。「ロシアにこの戦争を勝たせるわけにはいかない」と強調した。ウクライナ侵攻後、ロシアと地理的に近いスウェーデンは200年以上続いた中立政策を転換。今年3月、米欧の軍事同盟、北大西洋条約機構(NATO)に加盟した。クリステション氏は、他国と連携して自国を防衛できなければ「ウクライナで起きたことは、他の国でも起こり得る」と述べ、方針転換に至った危機感を説明した。(共同)



<https://news.yahoo.co.jp/articles/10c2d111263c6c2d9775feec3644b47c2ba8b1b3/images/000>

※何しに来たか知らんが、早くお帰んなさいの声。

⑤スコット・リッター:クルスク川岸の炎上 - ウクライナが火の海に燃える中、ロシアが決定的な勝利！(2024年12月11日)

ウクライナが黒海での足場を維持しようと奮闘する中、展開する危機の実態を解明する。スコット・リッターは、シンフェロポリの船に対する壊滅的な攻撃、オデッサへの締め付け強化、戦場での膨大な犠牲者を分析している。西側諸国の支援が弱まり、NATO の野望が揺らぐ中、ウクライナは存続の危機に直面している。いつまで戦いを続けられるのか？

<https://youtu.be/ssXEsRRWgwxw>



<file:///C:/Users/jsanz/Downloads/KIMG4979.JPG>

⑥ダグラス・マクレガー:ロシアがスームイ国境を襲撃 - 状況を変える武器の増強！(2024年12月11日)

ダグラス・マクレガーは、スミ国境の侵攻からウクライナの防衛を圧倒した前例のない無人機攻撃まで、ロシアの容赦ない軍事作戦を分析します。武器生産の急増と計算された攻撃が紛争をどのように再編し、ウクライナの回復力と西側諸国の決意を試しているかを探ります。これは東ヨーロッパの戦略的勢力バランスの転換点でしょうか？ 出来事の展開を見守ってください。

<https://youtu.be/cJfFUPBEDSg>



<https://www.youtube.com/watch?v=cJfFUPBEDSg>

⑦シリアで自滅する西側、罨にかからないロシア！（2024年12月11日）

シリアのジハード主義者による支配は、まず第一にシリアの人々にとっての悲劇であり、彼らはリビアの運命をたどるかもしれません。しかし、ロシアにとってこれは全く異なる問題です。ワシントンとは異なり、モスクワは20年間も無駄な戦いを続けることはしません。むしろ、敵が自らの将来の敗北の種を蒔くのを見守ります。今や明らかなことは、アルカイダが運営する政府は常にアメリカを追い詰めるということです。今日のゲストは、元CIA情報官で地政学者のグラハム・フラー氏です。

<https://youtu.be/rA3pYZWYZ7A>



<https://www.youtube.com/watch?v=rA3pYZWYZ7A>

⑧ゼレンスキー、同盟国のアサドがシリアで敗北しプーチンを嘲笑、その後トランプがウクライナに衝撃を与える：「ロシアと取引しろ」（2024年12月9日）

驚くべき展開として、ウクライナの大臣がシリアのバッシュール・アル・アサド政権の崩壊をロシアの弱点として強調した。アサド政権の崩壊は、モスクワの軍事戦略の重大な脆弱性を露呈した。反政府勢力が急速な攻勢でアサド政権を倒すことに成功したことで、アサド政権の崩壊は50年以上続いたバース党政権の終焉を意味するだけでなく、この地域におけるロシアの影響力の大きな後退をも意味する。詳細はビデオをご覧ください。

<https://youtu.be/AaXe95okC0Y>



<https://www.youtube.com/watch?v=AaXe95okC0Y>

⑨ウクライナ、息も絶え絶え - ロシアの爆弾、記録的レベルに達する(2024年12月10日)

https://youtu.be/CxPQi_Vcor4



https://www.youtube.com/watch?v=CxPQi_Vcor4

⑩ゼレンスキー大統領「わが軍はクリミアなどを奪い返す力が欠けている」ウクライナ、外交による全領土回復の必要性語る(共同通信【速報動画】、2024年12月2日)

ウクライナのゼレンスキー大統領は1日(日本時間1日夜)、首都キーウ(キエフ)で共同通信と単一会見した。対ロシア戦争の早期終結を望むとする一方、ウクライナの安全保障のため北大西洋条約機構(NATO)早期加盟の道筋を付けることが重要だと強調。クリミア半島を含む一部のロシア占領地は武力での奪還が困難だと率直に認め、外交によって全領土回復を目指す必要があると述べた。

<https://video.yahoo.co.jp/c/29494/83168ac5426381d3854142ac2c356f0b2cf3f238>